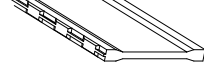
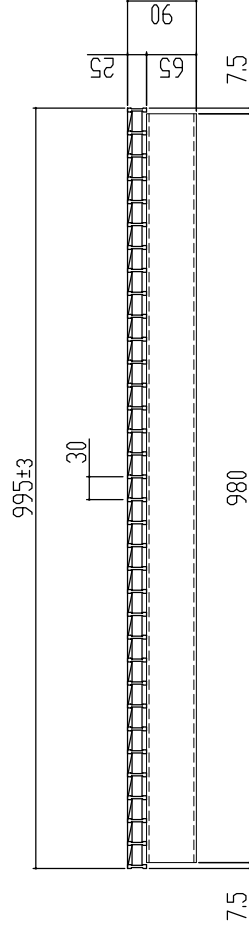
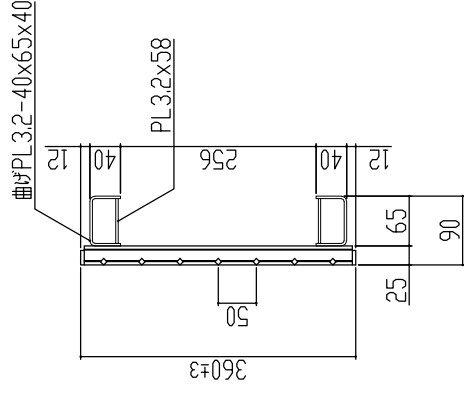


⇄ 車輛進行方向 (側溝) ⇄



本体重量 21.8kg

主部材詳細図 表面処理 本体は溶融亜鉛メッキ仕上げ (JIS H8641)

訂正年月日 標準製作図面 訂正年月日 訂正事項 訂正年月日 訂正事項 訂正年月日 訂正事項	検査 山口	承認印 平元	承認印 山口	製図 松本	図名 L_NJK90-255-2.5 T-14	図番 MKG-L-209-2
	検査 数量	承認印 数量	承認印 数量	製図 数量	図名 L_NJK90-255-2.5 T-14	図番 MKG-L-209-2
	検査 種類	承認印 種類	承認印 種類	製図 種類	図名 L_NJK90-255-2.5 T-14	図番 MKG-L-209-2
	検査 材料 注冊材料SS540	承認印 材料	承認印 材料	製図 材料	図名 L_NJK90-255-2.5 T-14	図番 MKG-L-209-2

株式会社 **マキテック**  
 MK駐輪事業部

かさ上げJIS道路側溝用(ハイテン)グレーチング  
 溝幅250用 並目ノズリップ

# グレーチング強度計算書



1 仕 様	品名	LNJK90-255-2.5
	製品寸法	360x995x25+65
	主部材	I-5 × 3 × 25
	断面係数	Z = 0.485 cm <sup>3</sup>

2 設 計 条 件	荷重条件	T-14	支点間距離	L = 256
	後輪一輪荷重	P = 56000 N	衝撃係数	i = 0
	許容応力	$\sigma_b = 320$ N/mm <sup>2</sup>	車両進行方向	主部材に対し、縦断
	主部材ピッチ	O = 30 mm		
	接地面積	a mm × b mm = 200 mm × 500 mm		

3 強 度 計 算	1. ベアリングバー1本当たりの単位荷重: $\omega$ (N/mm)を求める。 $\omega = \text{後輪1車荷重} \times (1 + \text{衝撃係数}) \times \text{ピッチ} / \text{接地面積} \quad \text{より}$ $\omega = 56000 \times (1 + 0) \times 30 / 100000$ $\omega = 16.80 \text{ (N/mm)}$
	2. ベアリングバーの最大曲げモーメント: M (N・mm)を求める。 $M = \omega \times L \times L / 8 \quad \text{より}$ $M = 137625.6$ $M = 137,626 \text{ (N・mm)}$
	3. 曲げ応力度: $\sigma_b$ (N/mm <sup>2</sup> ) を求める。 $\sigma_b = M / Z \quad \text{より}$ $\sigma_b = 137,625.6 / 485.000$ $\sigma_b = 283.76 \text{ (N/mm}^2\text{)}$ <p>従って、許容応力 <math>\sigma_b = 320</math> (N/mm<sup>2</sup>) に対し、</p> $\underline{283.76 \text{ (N/mm}^2\text{)} \leq 320 \text{ (N/mm}^2\text{)}}$

4 総 括	上記の計算式により、1項目の仕様で、 2項目の設計条件に対し十分な強度を保持致します。
-------------	--